|  |
| --- |
| 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表 |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 法人名 | 社会福祉法人しおかぜ | 代表者 | 理事長矢野　旬一 |  | 法人・事業所の特徴 | 社会福祉法人しおかぜは、特養・ショートステイ・デイサービス・訪問介護・小規模多機能や認定こども園と子供から高齢者まで、幅広く生活を支援することができます。小規模多機能では、認知症高齢者の支援に力を入れており、軽度から重度の方まで様々な状態の方に利用して頂いています |
| 事業所名 | 小規模多機能ホームやすらぎの家児島駅前 | 管理者 | 立石　裕子 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 出席者 | 市町村職員 | 知見を有するもの | 地域住民・地域団体 | 利用者 | 利用者家族 | 地域包括支援ｾﾝﾀｰ | 近隣事業所 | 事業所職員 | その他 | 合計 |
| 人 | 人 | ２人 | ０人 | 1人 | 1人 | １人 | 2人 | 人 | ７人 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　　目 | 前回の改善計画 | 前回の改善計画に対する取組み・結果 | 意見 | 今回の改善計画 |
| Ａ．事業所自己評価　　　　　の確認 | ・引き続き、まずは担当のご利用者様のしたい事、行きたい所、食べたい物、困っている事等の声をしっかり拾い、一つずつ叶える。・チームとして支援できる様職員同士の連携を強化する。 | ・時間的、予算的な問題もあり、まだ全員達成までとはいかないが、ひとり一人の願い事は叶えていけている。大変喜ばれている。・職員同士連携していく為に、声掛けを意識して業務に取り組んだ。 | ・みんなでよく話し合えていると思う。・言葉、文章の取り方が難しい所がある。 | ・今年度もご利用者様の願いを叶えていく。　又、ひとり一人が主人公となれる様、その方の得意な事や得意な物で、個展を開く。 |
| Ｂ．事業所のしつらえ・環境 | ・事業所内もご利用者様の作品を飾る等、四季折々の環境作りに取り組んでいく。 | ・季節に合わせて、玄関の手作りカレンダーや塗り絵、俳句等々ご利用者様の作品を飾って、四季が感じられる様にしている。お陰で季節を感じる事が出来ている。 | ・玄関周りも季節の花を植え季節を感じられる様になっている。・もう少し花を植えて華やかにしても良い。 | ・事業所内外共に、季節感を感じられ　　る様に、ご利用者様とお花を植えた　り、作品を飾るなど心地よく過ごせ　る様にする。 |
| Ｃ．事業所と地域のかかわり | ・事業所通信を隔月から毎月に変更。又ホームページやインスタ等のSNSも開設し施設の様子をご家族や地域の方にも見て頂ける様にした。継続し発信していく。 | ・毎月事業所通信を発行している。又行事を始め日々の様子等、SNSで発信しており、たくさんの方に見て頂けており、より施設での様子をお伝え出来ている。 | ・会議メンバーはSNSを見ている方が少ない。・全般的にはインスタも見てくれる方　も増えてきている。が、そもそも興味がない方や見方がわからない方もおられる。 | ・引き続きSNSでの配信をしていく。・地域の方やご家族の方が、気軽　に立ち寄れるよう、個展に合わせ様々な催しものを計画し実施する。　　　　　　　 |
| Ｄ．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み | ・地域の行事（お祭り等）に積極的に参加。・感染症対策をしっかりし、散歩やドライブ等、地域に出向く機会を増やす。 | ・お祭りには参加させて頂いておりご利用者様も楽しみにされている。・感染症対策をしっかりして、気候が良い時は出掛ける事が出来た。人員等の関係もあり、思う様に行かない時もある。 | ・利用者様は様々な地域に住んでおり、各地域の行事に参加するのは難しい。・夕涼み会の中で花火をしているが、今年は打ち上げ花火も多く、住民から危ないのではとの意見があった。 | ・訪問販売の再開（パン屋、ヤクルト等）や買い物支援を広げる。・地域に出向く機会を増やす。 |
| Ｅ．運営推進会議を活かした取組み | ・運営推進会議で出た意見を事業所会議の課題として取り上げ、参加した職員だけではなく、全職員で情報共有し改善に努める。 | ・現在、地域で困っている事はあまりない様子。野良犬の件等は情報共有している。　会議録は玄関に誰でもいつでも見れる様に綴ている。　　　 | ・資料も多くあり、丁寧に説明してくれるので、わかりやすい。・事業所の様子はよく伝わっている。 | ・引き続き現状の形式を維持し、情報交換しながら、地域と協働して実施できる事はないか検討する。・隔月の催し物の開催にあたり、地域の方の意見等を聞いていく。 |
| Ｆ．事業所の防災・災害対策 | ・引き続き地域の避難訓練に参加させて頂く。出来ればご利用者様も数名参加してみる。・家具等の転倒、落下防止対策。 | ・今年度は人員不足の為、参加できなかった。ご利用者様参加については、実施曜日によっては、長距離歩行ができる方がいない場合もある。・居室のテレビ等、落下防止をした。 | ・来年も避難訓練を実施するので参加していただければと思う。 | ・地域の避難訓練に参加。・今年度に引き続き、家具等の転倒、落下防止対策。又少しづつ非常食も備蓄していく。 |